

正月の装い 小物で華やか

今年もあとわずか。シニア男性の中には、正月の服装に迷っている人もいるかもしれない。ポケットチーフを使ったり、襟元にストールをまいたりして、新春らしい華やかなおしゃれができる。



まだ決めていない。ワンランク上のおしゃれを目指し、紳士服専門の百貨店「阪急メンズ東京」(東京・有楽町)を訪ねた。

同店の会員制「スタイルメイキングクラブ」では、専属スタイリストがコーディネート相談に乗っている。

東京都江東区の山本英人さん(76)は、妻と2人暮らし。自分の身に着けるものはすべて自分で選ぶおしゃれなシニアだ。

今度の正月は、妻と初詣に行くほか、長男家族が遊びに来る予定だが、何を着るかは



ジャケットにストールを合わせた山本さん。白いスポンもさわやか＝加藤祐治撮影

「昔は、元日の朝には新しい服を着て、気分を新たにしたいものです。全身新しくしないまでも、普段の装いに新しい小物を加えて、ハレの日の装いを演出してみたいかがでしょう」と提案する。

原田さんのお薦めは、ポケットチーフとストール。濃紺のジャケットの胸ポケットに、薄紫色のポケットチーフ(5250円)をのぞかせ、

ストール ポケットチーフ ピンズ

襟元には、薄いグレー、グリーン、ラベンダー色の混じり合ったストール(6930円)をふんわりと巻く。

ストールは、肩掛けのこと。マフラーよりも薄手で、幅が広く、長いものをストールと呼ぶことが多い。マフラーは、普通室内では外すが、ストールはそのまま着けていても違和感がない。襟元に巻けばボリュームを出せるので、平面的になりやすい男性の体のシルエットが立体的になる。また、年齢が出やすい首をストールで隠すことで、若々しく見せる効果もある。

日頃、マフラーは愛用しているが、「ストールは女性用だとばかり思っていた」と山本さん。「明るめの色で、シンプルでデザイン性のストールなら男性も使いやすいですよ」と原田さんはアドバイスする。

プラスする小物としては、襟に飾る「ピンズ」と呼ばれるアクセサリーもお薦めだそう。2000～5000円前



フェルト素材のピンズで襟元をさりげなく飾る

後。

また、冬の男性の服装は、暗い色合いが多くなりがちなので、思い切って明るい色を取り入れると、新春らしさを出せるという。濃紺のジャケットに自身の白のスポンを合わせる、さわやかな印象となった。

山本さんは「冬に白なんて、思ったが、意外に良かった。今後は試してみたい」と話していた。

個人客にファッションアド

ビスをしてしているパーソナルスタイリストのみなみ佳菜さん(東京都世田谷区)が薦めるのは、伸縮性のあるストレッチ素材のジャケットやズボン。

「シニア男性は、着心地の良さを優先し、自分の本当のサイズより大きめの服を着ているケースが多いんです。でも、おしゃれに見えるコツは、自分にぴったりのサイズを着ること。ストレッチ素材の服なら、ぴったりサイズでも窮屈さを感じずに着られます」

自宅で来客を迎える時には、ジャケットの代わりに、襟付きのカーディガンがお薦め。「ほどよくきちんと見えて、ジャケットよりもリラックスして過ごせますよ」

こどもの詩

あさがつこうつて
いくとぎに
ちいさいはっぱをみつけたよ
あさ きおんがひくくて
はっぱがこおっていたんだ
きれい
きれいなほつせきみたい

坂本 妃奈

(茨城県東海村・中丸小1年)

ふるえあがる寒気こそ冬の魔術。朝の光を凍らせ、あらゆるものをきらきら冷たく輝く宝石に変える。(長田 弘)

◇「昆布水のごちそうレシピ12カ月」(喜多條清光著、KADOKAWA メディアファクトリー、1200円税別) 昆布問

屋の著者と旅館の料理長らが協力し、昆布を水に浸して取る天然だし「昆布水」を使ったレシピをまとめた。年越しそば、七

草がゆ、チマキといった行事食のほか、栗ご飯、カブの焼き物など、季節感のあるメニューを月別に紹介している。

